

ささえあい

新年号

INDEX

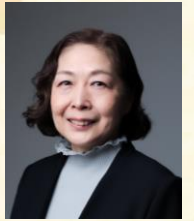
- ・新年のご挨拶
- ・協会の活動
- ・特集: 便利グッズ・ポータブルエコー
- ・コラム: 訪問看護、在宅医療の魅力を伝えたい!
- ・学術集会報告
- ・大阪府訪問看護ステーション実態調査報告
- ・編集後記



謹賀新年



2024年 新年のごあいさつ



一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
会長 長濱あかし



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当会の活動に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度より、大阪府の補助事業として「人生会議支援実践人材育成研修事業」を、府内11ブロックの教育ステーションで実施しています。「人生会議は死に方会議ではなく、どう生ききるかを考える会議」です。「病気や障がいがあっても住み慣れた自宅で生活し続けたい」、誰一人取り残されない地域づくりに向けて、皆様と一緒に事業に取り組んでまいります。

さて、当会は今年、大阪府訪問看護ステーション連絡会として発足から30年、一般社団法人化から10年を迎えます。協会会員数も1,000事業所を越えました。大阪府は訪問看護事業所数が約1,900事業所、訪問看護師数も第7次医療計画の目標値を満たしました。「量」の次は「質」です。次年度からの第8次医療計画では、訪問看護の質が問われることとなります。人材育成に向けた研修の充実、人材確保、適正な事業所運営に向け看護協会、医師会とさらに連携強化し、会員事業所への支援に務めます。

会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

干支の中で最も縁起がよいといわれる辰、皆様のご健康とご多幸、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。— 今年も宜しくお願いいたします —



雨森前 師坂久保	津竹芋宮 塩内生川	蔵米竹山 垣原島崎	水塩村金 上津山田	岩村原山 出田田口	前山口川	山松松高 口本井澤	小中尾	役員 (順不同)
み佳 よ代邦	千 子美代	和光信 代子苗	早祐京 苗代子	洋造真 子美弓	京りか 子美る	世か 志お	たか か子	
						由恵 加里康	惠洋 美子代	
							正美 俊子	

委員長・部会長からのご挨拶

災害対策検討委員会

平山 司樹

本年も気持ちを新たに、より一層災害対策に励んでまいります。変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

精神科訪問看護委員会

加波 一友

精神科訪問看護の実態を把握し、より良い看護を提供できるよう活動しております。お困りごとは教育STを通じてご相談ください。

学術委員会

勝眞 久美子

大阪の訪問看護が益々発展しますよう、学術委員会では会員の質向上に取り組んで参りますので、本年もよろしく申し上げます。

小児訪問看護委員会

清水 和美

小児訪問看護への興味・理解を深めていただき、益々発展していけるよう委員が一丸となって頑張ります。

訪問看護実態調査検討委員会

原田 かおる

本年の会員の回収率は何と74.7%!ご協力ありがとうございます。訪問看護の質向上に活かせるよう分析し報告してまいります。

広報委員会

荒木 さおり

協会や各委員会・部会・ブロックでの活動、現場で役立つ特集などの情報を本誌より発信していきます。どうぞご期待ください。

新卒訪問看護師育成事業部会

林 佳美

一人でも多くの学生や新卒の皆様「訪問看護やってみた」「訪問看護の道を選んでよかった」と思って頂ける活動を目指します。

適正化部会

芋生 和代

平成30年に部会が発足し満5年が経ちました。法令を遵守し正しく運営が行えるよう、活動を継続していきたいと思っております。

看多機交流会

岩崎 千佳

昨年11月に開催した交流会では、実際の看取り事例を元にした講演や在宅医との座談会を通して看多機の理解を深めることができました。

精神科訪問看護推進部会

澤谷 茂之

健全かつ質の高い精神科訪問看護の推進と啓発に向けて地域の関係機関等とも連携し取り組んでいきたいと思っております。

リハビリ対策検討部会

藤原 太郎

看護師とリハビリ職の連携を推進し幅広い年齢層の支援に繋がれるよう活動していきます。

小児訪問看護推進部会

新井 茂登子

今年度も小児科に特化した研修会を企画し、小児訪問看護に取組む事業者数の増加と質向上を念頭に推進していきたいと思っております。

協会の活動

안녕하세요 반갑습니다.



一般社団法人
大阪府訪問看護ステーション協会
일반 법인 협회
오사카부 방문 간호 스테이션 협회



韓国から視察団来所・・・訪問看護と福祉局

7月5日(水)韓国の訪問看護師さん15名が来阪されました。日本の訪問看護制度や看護小規模多機能型居宅介護等の情報収集を目的に来阪され、活発な意見交換を行いました。コロナ禍において、訪問看護師が自宅療養者訪問をしていたと伝えると「韓国では、感染者は施設対応でした。」と驚かれていました。

10月27日(金)には、韓国ソウルの福祉局から来阪。

韓国も高齢化が急速に進んでいます。入所施設が充足している韓国は、ADL低下時は、すぐに入所施設への流れだそうですが、今後はどうなるのか？日本の在宅サービス、訪問看護制度についての視察でした。

(会長・副会長・事務局にて対応)



社) 韓国夜間保護協会

就職フェアへの参加



朝日広告主催の就職フェアに参加。訪問看護の魅力等をお伝えしてきました。(松井副会長・塩津理事)

大阪府・市要望書提出

8月2日大阪府・8月23日大阪市に対し、要望書を提出いたしました。本要望書は大阪府地域医療推進協議会(34団体)からの提出です。当会は、訪問看護ステーションの運営・人材確保・質向上・災害時対策等に向けた事業への継続支援をお願いいたしました。



大阪府訪問看護シンポジウム2023 「地域共生社会の実現を目指して」



大阪府医師会・大阪府看護協会・当会三団体共催研修「第9回大阪府訪問看護シンポジウム2023」が11月18日(土)ハイブリッドにて開催しました。開会の挨拶は高井康之医師会会長、谷口吉宏健康医療部 保険医療室室長よりお言葉をいただきました。第一部基調講演は、座長を医師会中尾正俊副会長、講師にリクルートワークス研究所研究員/アナリスト坂本貴志氏をお招きし『定年後の仕事の実態一定年後の小さな仕事に着目して』をテーマにご講演いただきました。調査データを基に年齢による仕事への価値観の変化、シニア期は地域に根差した小さな仕事を通じて無理なく世の中に貢献するという考え方になるとのことで、定年後に働き続ける意義が語られました。第二部シンポジウムは、座長を大阪府看護協会地域包括ケア事業部山口世志子部長、当会より松本康代副会長が務め「地域で活動しよう！小さな仕事も社会を救う 働くことで社会とつながる」をテーマに、3名のシンポジストが登壇。西村 泉氏(公認OriHimeパイロット)は、疾患により寝たきりである外出困難者のご自身が働くということ、ロボットを通じたコミュニケーションについて、田中幸恵氏(北中島社会福祉協議会会長)は、30年以上の地域ボランティア活動と「まちの保健室」への参画について、岩下由美子氏(大阪府看護連盟うやげ会会長)は、看護職としての定年後のセカンド・サードステージ、シニアカレッジでの活動について、それぞれ活動する意味や意義をお話いただきました。その後の総合討論は、坂本氏にもご参加いただきました。当日ご自宅参加となった西村さんの代理者はOriHimeちゃん、お気に入りの服装で、発言者を見て、うなづく・手を振る、発言するなどの動作は、Web参加者も含め感動的でした。今回のテーマからは、出会うこと、つながることその場を作ることの重要性を感じました。最後に看護協会弘川摩子会長と、当協会長濱あかし会長の挨拶で閉会いたしました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

総合討論で見つめ合う
OriHime ちゃんと坂本氏




訪問看護 便利グッズ特集

訪問の役に立てるように思いを込めて、便利・効率化・お助けグッズについてのアンケート結果をまとめました




訪問の現場で頻繁に使用するグッズやツール

1位
ペットボトルの蓋




訪問看護ではおなじみのアイテムが1位となりました。事前に穴を開けておいたペットボトルの蓋をジッパーバックに入れて持ち歩いていれば、急に洗浄ボトルが必要になった時に、対応できますね。訪問先で、急遽穴をあける時は、爪楊枝を火に炙って穴を開ける方法もあります。急遽洗浄ボトルが必要になった際には、やけどに注意しながら、やってみてください。

2位
ディスポ手袋



手袋を裏返して履くことでスリッパ代わりになります♪さりげなく履けることで、本人や家族に不快感を与えずに衛生管理ができます。急な雨の時のフットカバーにもなりますので、是非お試しください♪


3位
幅広爪切り



爪白癬や肥厚している爪には使いやすく、効率的にケアできます。

刃と刃の間が普通のものより広い！


4位
iPad



音声入力機能を利用すると、難聴の方とのコミュニケーションに役立ちます。音声入力によって、会話が文字になると、難聴の利用者さんも会話に加わることができます。皆の輪に入り、生き生きと話をされる姿を見られる時に、喜びを感じます。文明の力に感謝です。


5位
除圧グッズ等

手作りしたり様々な工夫をしながら、みなさん除圧に努めています♪




ポリマークッション

オムツの内側を1枚剥がして、中のポリマー部分をジプロックに入れお湯で浸しました。



手作りメロリンガーゼ



尿とりパット等を傷を覆える位にカットし、パンチで穴をあけたビニールで包むとできます。創部にガーゼが張り付かず剥す際に皮膚を傷つけにくいです。手間はかかりますが安価です。



携帯型接触圧力測定器

6位
泡立てネット

石けんの泡をきめ細やかに作る際に活躍しています。最近では、泡でできるタイプの製品も沢山ありますが、それでは濃度が足りない時などにおすすめです♪

泡立てネットが無かったら…

泡立てネットの代わりに、ビニール袋に石鹸を入れて振ると泡石鹸が出来ます。



効率化のために導入したい・興味があるグッズ



電子カルテ (iPad)

その場で記入出来るので、後で忘れないように単語だけ入れておくだけでも、効率的に訪問ができます。

情報共有がしやすく、緊急携帯当番の時など終業後クリニックの先生から電話がある場合や、転倒リスクの高い人、ターミナルの方への介入時などにも事前に情報共有が出来るのが利点です。訪問のスケジュールや、指示書やサマリー、ケアプランが直ぐに確認出来ることも役に立っています。電子カルテの種類にもよりますが、電子カルテの情報からExcelが作成出来たり、提供表の受け渡しは、データ連携ができるのも魅力です。少しずつデータ連携を活用する居宅が増えてきている印象です。



シフト管理アプリ

シフト作成時間の短縮ができ、非効率な移動時間など無駄の削減ができます。

スマートフォンやタブレットで管理できるため、いつでも予定の登録、変更、確認をすることができ、他の職員への共有も同時にできることから、訪問間違いや訪問の抜けなどのリスクを防ぐことができます。最近少しずつ様々なシステムやアプリが増えてきているようです。Googleカレンダーもシフト管理に使えるようです。

ポケット心電図

色々な会社の製品があります。

使用している物は十二誘導と比較しても近い波形が得られます。症状的に急ぐときには病院へすぐに行く必要がありますが、それ以外で胸部症状がある際、波形をプリントアウトすると変化や異常も分かりやすく受診の際に持参しても有効と考えます。



ポータブルエコー



身体内部を可視化できることで、アセスメントするための情報が増え、適切な援助に繋がります。

※ 詳しくは、次ページの特集をご覧ください！

問題を解決するためのアイテムやサポートグッズ

計測アプリ

カメラを対象に向けるだけで、長さを算出できます。褥瘡の計測ができたり、手すり設置の時の目安にもなります。

スライディングシート

1人で訪問する事が多いので、介助者・利用者様共に体位移動の際の負担軽減にもなります。ゴミ袋などでも代用ができますが、スライディングシートの方が2倍ぐらい楽に出来るかと思えます。ただ、費用がかかるのでまずはゴミ袋で試してみるのもいいですね。

アイスベスト



コロナ禍では猛暑を乗り切る方法として、防護服の下にアイスベストを着用していました！最大で背中・両脇に1個ずつの4個の保冷剤を入れることが出来ます。保冷剤は気温にもよりますが、真夏でも2~4時間は保ってくれます。コロナ明けでも入浴介助中に着用したり、暑さ対策で重宝し熱中症対策にもなっています。

便利グッズ特集 をしてみよう...



みなさんお忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

訪問にお馴染みのグッズから、気になる物まで様々なグッズが出てきたことと思います。ケアと連携が大事な訪問看護において、その両方に有用なグッズやツールの重要性を再確認することができました。利用者さんのニーズに応える一つの手段として、この情報がみなさんのお役に立てると、とても嬉しいです。地域を支える訪問看護師として、共に頑張りましょう。



ポータブルエコーの活用事例

便利グッズ「あったらいいな」で回答があった、ポータブルエコーを実際に使用されている市北ブロックよどき訪問看護ステーション管理者小川真里子さんにお話を伺いました。

お忙しい中、
ご協力ありがとうございます
ございました



1. ポータブルエコーを使用するメリットはどんなことでしょうか？

在宅で身体内部を可視化できる唯一の道具は、超音波（エコー）です。訪問看護師として、訪問時に利用者本人の訴え、バイタルサインの測定、血液検査結果など、さまざまな情報から身体の中で何が起きているのかをアセスメントしています。エコーを活用することで、アセスメントをするために効果的な情報が増え、適切な援助実践につながっていると考えます。

エコーが効果的だった事例をあげます。

- ① 膀胱留置カテーテル挿入中の方で、家族から尿の流出が止まったと連絡がありました。エコーを実施することで尿生産が少ないのか、カテーテルの機能不全なのか、すぐに把握できました。
- ② 排便間隔が延長した場合、エコーを実施することで直腸の便貯留の有無を確認できるため、便を確認するための羞恥心や苦痛が伴う直腸指診を行わなくなりました。
- ③ エコー画像は、利用者やその家族と共有することで、ケアの方針の同意が得られやすく、安心してもらえています。
- ④ 便秘の方は、訪問時にエコーを実施してもらうことを楽しみにしている事が多く、次回訪問までにご自身が行える食生活や生活習慣の改善が図れることがあります。

2. 医師との連携はどのようにしていますか？指示書の記載などは必要でしょうか？

エコーの導入前には連携を密に取っている医師には口頭で観察のために導入することを説明しました。緊急時は、電話でバイタルサインと合わせてエコー結果を報告し、画像共有が必要な時はICTを活用して共有しています。訪問看護報告書にはエコー結果を記載するようにしています。訪問看護指示書への記載は必要ありません。

3. 購入金額はどのくらいでしょうか？

機器によって金額はそれぞれです。金額と画質の良さは比例すると言われています。初学者ほど高画質のエコーを使用することを医師からも勧められています。

4. ポータブルエコーを看護師が使えるようにステーションで研修が必要ですか？

従来から看護職が臨床の現場でエコーを活用しているのは、助産師による妊婦や胎児の観察です。看護師がエコーに触れる機会もないため導入時の講習は必要と考えます。画像読影についても一人では習得が難しく、医師や検査技師など指導いただける方に協力してもらって学んでいくのがいいと思います。当社では、エコーを用いたアセスメントや実践について定期的に勉強会を開催し学びを共有しています。



実際の写真

まとめ

ポータブルエコーの活用により訪問看護師が身体内部の状況をリアルタイムに把握することが可能となっています。アセスメントにおける正確性が高まり、行う援助がより客観的な根拠に基づくものとなりますね。今後は検査機器のポータブル化により在宅でも種々の検査情報が得られることが期待でき、訪問看護の転換期となるかもしれません。

第5回 学術集会 「伝え合おう 私たちの訪問看護」

昨年10月28日「伝え合おう私たちの訪問看護～在宅ってやっぱりええやん！～」をテーマに、第5回学術集会を開催しました。今年度は、演者は会場に集まって発表し、聴衆はオンラインで参加するという形で行いました。

新たな取り組みとして、訪問看護利用者のインタビュー動画を放映したところ「生の声が聴けて励みになった」「訪問看護の役割が理解できて勉強になった」という意見が多く、好評を得ることが出来ました。また新たな試みとして「優秀演題」を選ぶことにしました。当日参加者の投票による選出で、市南ブロック／訪問看護ステーション帝塚山もも発表の「ミニメンタルステート検査(MMSE)を活用した認知症の新たな取り組み」が選ばれました。訪問看護の対象は認知症者の場合が多いですが、本演題は、病状を客観的に評価して介入する必要性を再確認できるものでした。新卒訪問看護師からは、独居高齢者に対する支援の事例発表があり、一般演題は10演題でしたが、全ての演題に対して大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野教授の河野あゆみ先生から講評をいただくことができ、更なる学びとなりました。学術集会をつくり上げるプロセスは、横のつながりの強化や委員自身の学びにも繋がるものでした。これからも活発な活動を通して、大阪の訪問看護のボトムアップに励んでいきたいと思っています。

(学術委員会委員長 勝真久美子)

コラム 訪問看護、在宅医療の魅力を伝えたい！ ～作業療法士として最高の瞬間～

大阪市では毎年、福祉・介護の仕事のやりがいや魅力が伝わるエピソードを募集し、優良事例に対し市長が表彰し、広く市民に周知することで福祉・介護の仕事のイメージアップ、人材確保、定着化を図ることを目的に「みおつくし福祉・介護の仕事きらめき大賞」を決定し、表彰を行っています。今回、大阪市西淀川区にある「訪問看護ステーションそら彩」 作業療法士 岩本育也さんが受賞されたので紹介いたします。今回のコラムは紙面の都合上抜粋しています。受賞作品の全文は「みおつくし福祉・介護の仕事きらめき大賞」 検索または下記URLからぜひご覧ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/page/0000450688.html>



受賞作品名：さくらがみたい（・・・）わがままいいの（？）

A氏は初めてお会いした時から既に人工呼吸器を使用し、言語でのコミュニケーションはできない状態でした。訪問リハビリテーションの目的は、主訴である四肢倦怠感の改善と、関節拘縮予防の為に運動リハビリに加え、筆談及び指文字で意思疎通を行うための能力の維持でした。

A L Sの進行により、いよいよコミュニケーションを取る事が難しくなってきました。A氏が意思疎通の手段を失えばQOLは著しく低下します。自宅で療養を選択する事には多くのメリットがあると考えていますが、楽しみやストレスの軽減など殆どのメリットは意思疎通なしには成しえませんが、福祉機器の事業者へ相談し方法を模索。複数の提案を受けた中から、空気圧をコントロールして文字盤のカーソルを操作する機器を、わずかに動く足用にカスタマイズする方法を提案する事にしました。ご本人と家族に取り組み意思を確認し、福祉機器業者とも打合せを行って導入が決定しました。

機器の設置と操作するための補助具を作成し、A氏が疲れにくく使いやすいように微調整を繰り返す事で、機器を使用して挨拶やお礼などの簡単な言葉は短時間で伝えられるようになりました。また、時間は掛かるものの自由な会話も可能になりました。

この状態で約2年経過し、何気ない会話の中でご本人より「人工呼吸器を着けてから約3年、一歩も外に出ていない」という事を聞きました。家族の方に確認したところ、A氏が桜シーズンを毎年楽しみにしていて、寝たきりになる前は家族や友達と花見に行っていたという事をお聞きしました。A氏へ再確認したところ、【さくらははいちばんすきななほでもいわくがかかるといにはでられない あきらめています】という返事。この時すでに人工呼吸器の使用で頻繁な吸引が必要な状態でした。家族より「母に桜を見て欲しい。私達も頑張るので、協力して欲しい！」と言葉をいただきました。



主治医、訪問看護師、私（作業療法士）、ケアマネジャー、訪問介護士で緊急の担当者会議を開いて相談。人工呼吸器・吸引器が搭載できるリクライニング車いすを用意する事、訪問看護師が同行する事、医師が緊急対応可能な時間帯に外出時間を絞る事を条件に主治医から実施許可を得る事ができました。



御主人と娘様の同行という支援チーム総出で花見を決行。移動中A氏は『たのしみです』と繰り返しておられました。そして目的地で桜を前にした時、A氏とご家族は終始涙を流しておられました。同席させていただいた支援チームの全員が、確かにA氏の感謝の【ありがとう】を聞きました。限られた時間でしたが、その場にいた者すべての心が満たされる2時間でした。

ご家族からも自宅で介護する道を選んで良かったと言っていた事で、関わりの中でA氏やご家族の事を深く知りその人生の一部を支援できた事は、私が作業療法士として関わることができた最高の瞬間でした。

在宅医療において、A L Sを罹患された利用者様を担当する機会を得ました。作業療法士として訪問看護からのリハビリテーションを通し、質の高い医療を提供できたと考えています。質の高い医療には専門職としての介入、多職種連携が必要ですが、訪問看護ステーションにセラピストの必要性を伝えることができれば幸いです。

訪問看護ステーションそら彩 岩本育也

～在宅ってやっぱりええやん！～

2023年10月28日(土) 参加者242名

優秀演題

「ミニメンタルステート検査（MMSE）を活用した認知症の新たな取り組み」

市南ブロック 訪問看護ステーション帝塚山もも
阿部 華津子氏

この度は最優秀賞に選ばれとても光栄に思います。これを励みに今後も頑張ります。ありがとうございました。

多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



市南ブロック
「訪問看護ステーション帝塚山もも」の皆さん

2023年度大阪府訪問看護ステーション実態調査速報

2023年度大阪府訪問看護ステーション実態調査へのご協力ありがとうございました。
現在データの集計・分析中です。 全体回答率67.1%、大変高い回答率となりました。



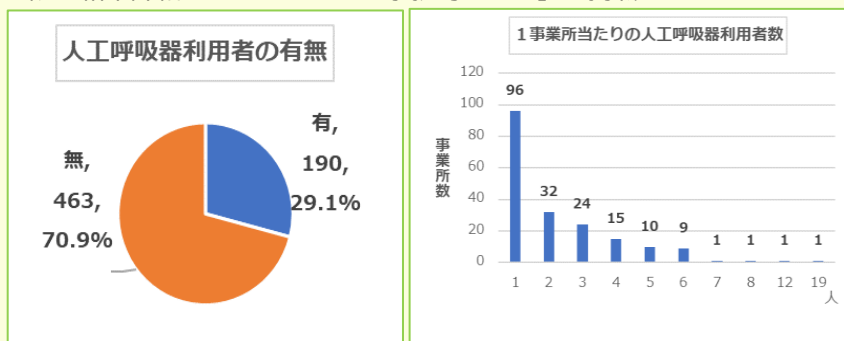
アンケート配布及び回収状況：有効配布数1824件・回答数1224件・回答率67.1%

ブロック名	全配布数	有効配布数	会 員			非 会 員		
			配布数	回答数	回答率	配布数	回答数	回答率
三 島	108	105	65	53	81.5%	40	22	55.0%
豊 能	188	188	99	81	81.8%	89	59	66.3%
北 河 内	208	207	112	85	75.9%	95	54	56.8%
中 河 内	171	170	104	74	71.1%	66	37	56.1%
大阪市北	149	148	69	50	72.5%	79	48	60.8%
大阪市西	77	76	45	31	68.9%	31	19	61.3%
大阪市東	186	184	100	73	73.0%	84	46	54.8%
大阪市南	239	236	127	94	74.0%	109	66	60.6%
堺	200	198	87	63	72.4%	111	67	60.4%
南 河 内	119	119	64	48	75.0%	55	32	58.2%
泉 南	197	193	52	38	73.1%	141	84	59.6%
総 計	1842	1824	924	690	74.7%	900	534	59.3%



24時間人工呼吸器装着者に関するアンケート調査

上記、緊急アンケートへのご回答ありがとうございました。
調査結果詳細はホームページ「事務局だより」に掲載しています。



第11回大阪府看護学会

看護がつなく共生社会
～集い・笑い・語り合う～

2023年12月2日(土) ナーシングアート大阪にて400名を超える参加者にて開催。
多数の演題中には訪問看護からの発表もありました。最優秀賞は今年は2演題となり
「訪問看護ステーションにおける災害対策キャンペーンの実施と成果報告」
大阪医科薬科大学訪問看護ステーション 山口久子氏 が選ばれました。

おめでとうございます。

表紙写真

ささえあい新春号の表紙を飾る写真 ご提供ありがとうございました。

- ①桜の下で家族団欒のひととき (提供 こでまり訪問看護ステーション)
- ②入浴前の血圧測定、自然と笑がこぼれます (提供 スマイル訪問看護ステーション)

編集後記

今回はアンケートを基に、現場の便利グッズ・アイデアを紹介させて頂きました。全て掲載出来ないほどアイデア盛りだくさんで、いつにも増して委員会が盛り上がりました！次回は、大阪府下の多彩豊かな各ブロックの活動をご紹介できればと考えています。訪問看護の底力は、各ブロックのパワーが源になっています。これからも、ささえあいが皆様の心の一助になることを願い編集致しました。

広報委員会 一同

入会のご案内

入会は随時受付しています。
(年度は4月1日～翌年3月31日まで)

新規入会をご希望の施設は、当協会ホームページよりWEBにてお申し込みください。(入会案内のページ)

- 年会費 正会員(事業所)20,000円
賛助会員(個人)12,000円
- 入会金 正会員(事業所)20,000円
賛助会員(個人)5,000円

個人会員の入会につきましては事務局までご連絡ください。



広告掲載について

ささえあいの広告掲載を開始しました。掲載はフルカラーになります。発行は年3回程度。広告掲載にご協力いただける団体様・企業様は当協会までお問い合わせください。(事務局 TEL06-6767-3800)

広告の場所	裏表紙	裏表紙裏面	中面
サイズA 1/3	60,000円	45,000円	30,000円
サイズB 1/4	50,000円	37,500円	25,000円
サイズC 1/5	40,000円	30,000円	20,000円